【ドバイ 2019 世界パラ陸上競技選手権大会・第2日(11月8日午後)】出場選手コメント

◆男子 800m T54 予選

・鈴木 朋樹(トヨタ自動車)

4着でしたが、スタートについては100点だと思っています。これまでずっと強化してきたスタート力はついてきているので、さらに磨きをかけて、他の選手よりも抜きんでたスタート力をつけたい。あとはレース展開が課題。レース中の位置取りはまだまだ克服しなければいけないポイントだと思っている。決勝では、いい部分であるスタートを活かすのと、位置取りと押し負けないことを課題としたい。(今日と)同じことを繰り返したくない。

◆男子 800m T54 予選

• 渡辺 勝(凸版印刷)

今大会は 5000m がメインなので、特に調整せずに臨んだ割には、予想以上に走れた。調子が良いのかもしれない、と感じた。

1500m は予選通過したことがないので、取りに行きたいし、5000m は絶対に取りに行きたい。そうしないと東京パラはないので。

◆男子 800m T54 予選

・西 勇輝(野村不動産パートナーズ)

他の人たちと集団で勝負したかったなという気持ちはものすごくあるが、実力的には劣っていると分かっていたので 100m のつもりで、前半から突っ込んだ。最初はいい力を出せたと思っている。この先はもっとトレーニングを積んで、強化しないといけないと思ったし、この強い選手たちともっと戦いたいと思ったレースだった。ハングリーさが自分には足りないと思った。残る 400m は、何か自分にもいいきっかけになるようなレースにしたいと思っている。今日のレースのように、前半 200m から突っ込んで、最後に失速しても仕方がないという気持ちで、何か一つ爪痕を残したいと思っている

◆男子 400m T52 予選

· 佐藤 友祈(WORLD-AC)

スタートでは緊張しすぎて体が硬直していて、やばいと思った。バックストレートを抜けたぐらいから、ようやく体が動き始めた。それまでは、「やばい」「身体が動かない」という感じだったので、その割に1分越えなかったのはよかった。トラックも自分では重い感じがして、得意ではないが、どの選手も一緒。しっかり勝ち切ることが大事で、それが東京パラでの金メダルの、一つの指針になるかと思う。

(ライバルの)マーティン・レイモンド選手とは2年ぶり(前回ロンドン大会以来)直

接戦うチャンス。とりあえず勝ち切りたい。

◆男子 400m T52 予選

·上与那原寬和 (SMBC 日興証券)

(ドバイ入り後に左肩を痛めたが)思ったより走れた。コンディションはよかったが、 左肩を痛めてしまい、痛み止めを打ちながらのレースになってしまった。決勝は4着狙いでタイムも上げていけたらと思う。パワーが大事なので、いろいろ試しながらやって 見たい。

◆男子 400m T52 予選

・伊藤 智也(バイエル薬品)

新しいレーサーを使い始めて1カ月。2着はよかったと思う。世界選手権は2011年ぶりになるが、今大会は会場施設の問題で、アップができないのは厳しい。明日の決勝は3着争いだと思うので、大切なレースをしたい。最初からできる限り思い切り走って走り切りたい。

(コメント協力:星野恭子)